

第50回　「MCP: Advanced Topics」
Anthropic 公式 Claude Academy

# Claude Code

# HTTP のつなぎ方を詳しく

公式の教材を、順番に

原石工房
隠れた才能に気づき、花開く

# この資料について

原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）MCP: Advanced Topics ／ StreamableHTTP in depth

改訂で、最初の挨拶とやりとりの通し番号は無くなりました

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

# 全51回の、今日はここ

原石工房

**Claude Code 101** — 第1回〜第12回

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

**Claude Code in Action** — 第13回〜第21回

13 14 15 16 17 18 19 20 21

**スキル** — 第22回〜第27回

22 23 24 25 26 27

**手分け（subagents）** — 第28回〜第31回

28 29 30 31

**MCP 入門** — 第32回〜第40回

32 33 34 35 36 37 38 39 40

**MCP 応用** — 第41回〜第51回

41 42 43 44 45 46 47 48 49 **50** 51

**今日はここ　第50回**

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

# 今日のレッスン



MCP: Advanced Topics の第10回

原題　StreamableHTTP in depth

訳　HTTP のつなぎ方を詳しく

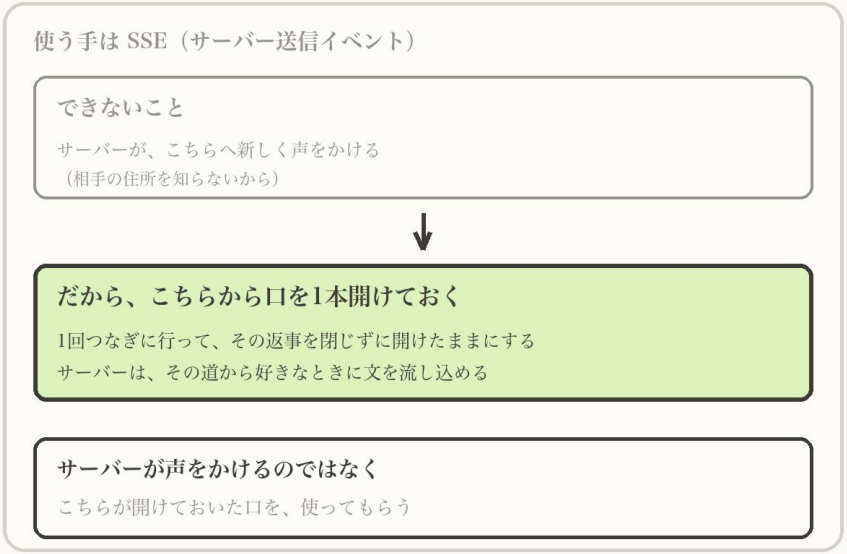
前回の窮屈さを、どうかわしているのかの中身です

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

# ① こちらから、口を開けておく

原石工房

## 原題 The SSE Workaround




**向きを変えずに、両方向をつくる**

**1回つなぎに行って、その返事を閉じずに開けたままにする**

**サーバーは、その道から好きなときに文を流し込めます**

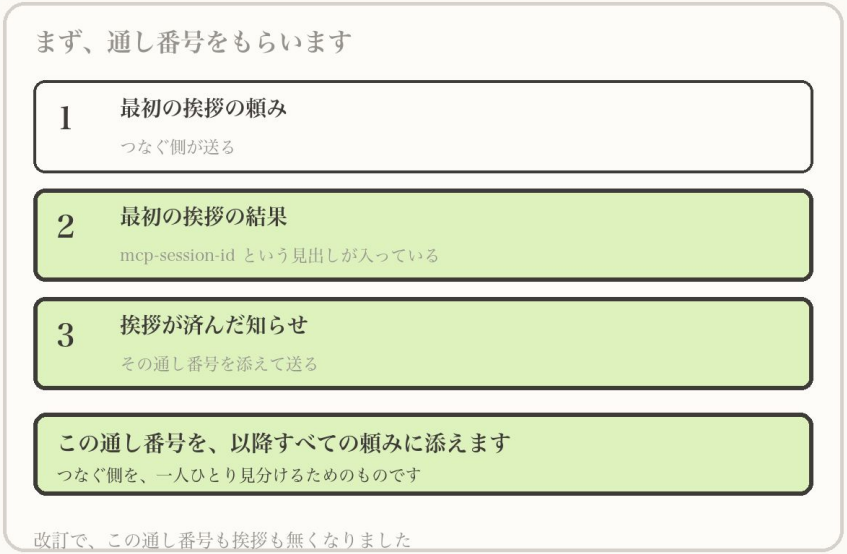
**サーバーが声をかけるのではなく、開けた口を使ってもらう**

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

# ② まず、通し番号をもらう

原石工房

## 原題 Initial Connection Setup




**挨拶のときに、名札をもらう**

挨拶の結果に mcp-session-id という見出しが入っています

これ以降のすべての頼みに、添えます

つなぐ側を、一人ひとり見分けるためのものです

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

# ③ 道具を呼ぶと、SSE が2本に

原石工房

原題 Tool Calls and Dual SSE Connections




**終わる前に届けたいものは、別の道を通る**

おおもとの SSE は、ずっと開いたまま

道具のための SSE は、結果を送ったら閉じます

進み具合はおおもと、記録と結果は道具用を通ります

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

# 2本に分かれているのには、理由がある

原石工房

### おおもとの SSE

- 挨拶のあと、GET で1本開ける
- ずっと開いたまま
- サーバーから出す頼みが通る
- 進み具合の知らせも、ここ

### その道具のための SSE

- 道具を1回呼ぶたびに作られる
- 結果を送ったら自動で閉じる
- 記録の文が通る
- 道具の結果も、ここ

### 進み具合は、道具が終わる前に届けたいもの

だから、道具の返事とは別の道が要ります

記録と結果は、その道具の返事と一緒に流せばいい

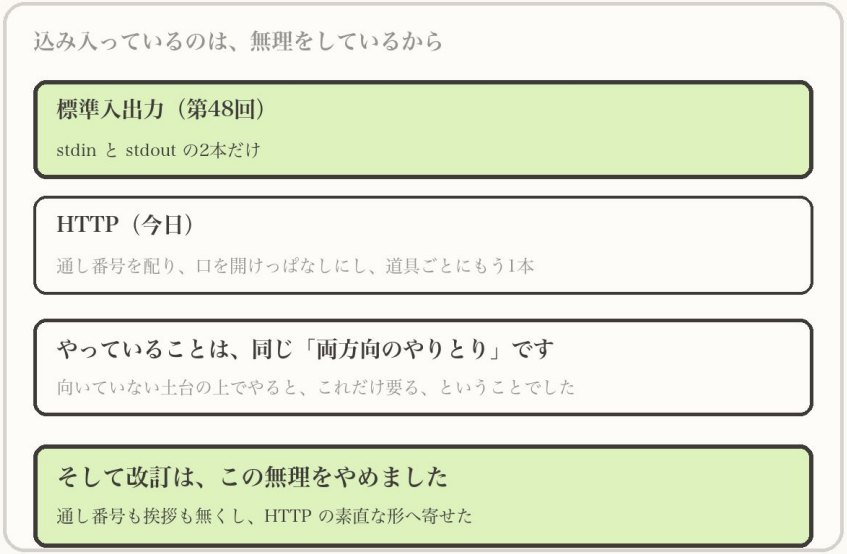
2本に分かれているのには、理由がある

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

# ※ 補足　込み入っているのは、無理をしているから

原石工房

ここから先は原文にありません




**何を手放して、何を得たのか**

第48回は、stdin と stdout の2本だけでした

今日は、通し番号を配り、口を開け、道具ごとにもう1本

やっていることは、同じ「両方向のやりとり」です

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

# ※ 補足　そして改訂は、この無理をやめました

原石工房

通し番号も、最初の挨拶も無くなりました

1回1回の要求が、それだけで完結する形になりました

失うものはありますが、2本立てを毎回気にしなくてよくなります

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

# 今回のまとめ



使う手は SSE。こちらが開けた口を、サーバーに使ってもらう

道具を呼ぶと SSE が2本。種類で通る道が違います

2つの設定を true にすると、このかわし方が壊れます

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/streamablehttp-in-depth ／ 非公式の日本語訳

その工夫は、何を支えていますか



# 原石工房

隠れた才能に気づき、花開く